

《報道資料》

パテック フィリップ ジュネーブ

2009年3月

蘇る伝説、クロノメトロ・ゴンドーロ5098モデルのローズゴールド・バージョン

2007年、パテック フィリップは、80年間もの間忘れ去られていた伝説的なコレクションをリバイバルさせた。クロノメトロ・ゴンドーロである。今年は18金ローズゴールド・ケースとこれにマッチする文字盤を備えたニューバージョン5098Rモデルが登場する。ローズゴールドの放つ温かみのある光は、アール・ヌーボー、アール・デコ時代を通じ、とりわけ重要な役割を演じてきた。

トノー型ケースの完璧なフォルムとカラー

トノー（フランス語で《樽》の意）型ケースとローズゴールド素材は、アール・デコ様式タイムピースの典型的な特徴といってよい。しかし新しい5098Rモデルほどこの2つの要素を洗練の極限にまで高めた例は、これまでなかった。そのフォルムは、1925年創作のクロノメトロ・ゴンドーロ・モデルにインスピレーションを得ているが、デリケートにリデザインされ、手首を優しく包むものとなっている。ケースのみならず、サファイヤクリスタル・ガラスとケースバックにもカーブしたラインがシームレスに取り入れられている。硬度の高いサファイヤクリスタル・バックを曲線にカットし、ケースバックに完璧にフィットさせて防水性を確保することは、先端技術と熟練したクラフトマンシップがあって初めて可能となる。しかしその成果は報われた。魅力に溢れた完璧なタイムピースが誕生したのである。

レクタングラー型ムーブメント

クロノメトロ・ゴンドーロ5098Rモデルに搭載されたムーブメントは、トノー型ケースと同じくらい特徴的である。5098Rモデルのために新たに開発されたこのレクタングラー型手巻キャリバー25-21 REC（RECはレクタングラーを意味する）は、今日のムーブメント開発における模範的な成果といってよい。しかしそれと同時に、例えば、エレガントなS字カーブを描いた2番受け、ムーブメントの動きを鑑賞できるスレンダーなガンギ受けと4番受けなど、二十世紀初めのクロノメトロ・ゴンドーロに見られる著しい特徴をも受け継いでいる。キャリバー25-21 RECにはより最新の技術も取り入れられている。たとえば28,800振動（片道）／時（4Hz）のパテック フィリップ特許ジャイロマックス・テンプレは、高く安定した計時精度と調整の容易さを共に実現している。

手仕上げのギョシェ装飾文字盤

5098Rモデルのゴールド文字盤は、1925年に創作されたモデルの文字盤を復刻したものである。ラグに向かって流れるようなフォルムが優美である。シルバーカラーの中央と外周は、今日きわめて稀少なものとなった技法を用いて手仕上げで精緻にギョシェ装飾されている。ゴールドカラーのオーバル型スケールにはブラウン・ブレゲ数字がプリントされている。文字盤上部には《PATEK PHILIPPE GENEVE》、下部には《CHRONOMETRO GONDOLO》の文字が記されている。クロノメーターの正確さで時を刻む時針、分針はブラウン仕上げゴールドのペア型である。

伝説のゴンドーロ&ラブリオ社

1872年11月12日は、リオ・デ・ジャネイロの高級時計宝飾店ゴンドーロ&ラブリオ社に最初の懐中時計を発送した日としてパテック フィリップの歴史に残る記念すべき日である。それ以後両社の取引関係は順調に発展し、1902年以後、パテック フィリップはゴンドーロ&ラブリオ社のために特別に創作したタイムピース・コレクションを納入するにいたる。これがクロノメトロ・ゴンドーロである。クロノメトロ・ゴンドーロの価格790スイスフランは、おおよそ当時のブラジル人熟練労働者が1年間に得る賃金に相当した。そこでゴンドーロ&ラブリオ社では、このモデルのために新しいマーケティング戦略を生み出した。それは、高級時計の愛好家たちを対象に、会員数を180名に限定したクラブを創設することであった。この《パテック フィリップ・クラブ》の会員は皆大きなソブレロをかぶり、ピクニックなどの多彩なイベントに参加できた。しかし最大の目的は、毎週1回行われる抽選会であり、当時の賭博行為取締法に抵触しないよう、複雑なシステムをとっていた。抽選会は毎回の参加料が10フランで毎週1回、連続して79回行われ、毎回1等賞としてクロノメトロ・ゴンドーロが1個提供された。第1回の抽選会で時計が当たった人は、1回分の参加料10フランでこれを手に入れたことになる。続く第2回～第78回の当選者は20～780フランでこれを入手したことになる。最後まで当選しなかった101人は、第79回の最終抽選会に参加した時点で既に定価の790スイスフランを支払っているのも、もれなくクロノメトロ・ゴンドーロをもらうことができたのである。

クロノメトロ・ゴンドーロは当初は懐中時計のみであった。文字盤にプレステージ溢れるクロノメトロ・ゴンドーロの名を冠した最初の腕時計がつけられたのは1910年頃のことであった。クロノメトロ・ゴンドーロ腕時計はスクエア型、レクタングラー型、トノー型、さらにカレ・カンブレと呼ばれるクッション型もある。パテック フィリップのラウンド型以外のタイムピースからなるコレクションがゴンドーロ・コレクションと命名されたのはこのためである。しかし1920年代の後半に入ると、国際的なビジネス環境は悪化してきた。そして1927年の納入を最後に、クロノメトロ・ゴンドーロのゴンドーロ&ラブリオ社への販売は終了した。

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

A D & P R ディレクター

丸山和泉

電 話：03-5209-8018 (直通)

F A X：03-3256-7558

maruyama@ppjapan.com

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03-3255-8109

パテック フィリップ ホームページ：<http://www.patek.com> (英語)

技術仕様

クロノメトロ・ゴンドーロ5098Rモデル

ムーブメント	キャリバー25-21 REC手巻ムーブメント
サイズ:	24.60 mm×21.50 mm
厚 さ:	2.55 mm
部品総数:	142個
石 数:	18石
連続駆動可能時間:	最高44時間
テンプ:	ジャイロマックス
振動数:	28,800 振動 (片道) /時 (4 Hz)
髭ゼンマイ:	平髭式
セッティング機能:	リュウズの2位置 ・引き出した位置: 時刻合わせ ・押し込んだ位置: 巻上げ
表 示:	時針・分針
外 装	
ケース:	18金ローズゴールド カーブしたサファイヤクリスタル・ガラス カーブしたサファイヤクリスタル・バック (4本のポリッシュ仕上げネジ止め) 3気圧防水
ケース寸法:	縦: 42 mm 横: 32 mm 厚 さ: 8.9 mm (サファイヤクリスタル~サファイヤクリスタル・バック) 11.45 mm (サファイヤクリスタル~ラグ) ラグ間隔: 17 mm
文字盤:	ゴールドにロジウム・プレート、曲面、手仕上げギヨシェ装飾 シルバーカラー、ゴールドカラーのゴールド文字盤上部には《PATEK PHILIPPE GENEVE》、下部には《CHRONOMETRO GONDOLO》の文字を記載 12個のブラウン・ブレゲ数字 (プリント) ブラウン仕上げゴールドのペア型時針、分針
革バンド:	ラージ・スクエアのハンドステッチ・アリゲーター・バンド、カラーはマット・ダークブラウン 歴史的なネジ付18金ローズゴールド・ピン・バックル (14 mm)